

<No28 : 応用 (河川) >

次の文は、公共測量における河川測量について述べたものである。正しいものはどれか。次の中から選べ。

1. 距離標設置測量は、定期横断測量における水平位置の基準となる距離標を設置する測量である。距離標は、左右の岸どちらかに設置する。
2. 水準基標測量は、定期縦断測量の標高の基準となる水準基標を設置する測量である。水準基標は、水位標から十分離れた場所に設置する。
3. 定期縦断測量及び定期横断測量は、河川の形状を断面図として作成する測量である。これらは、直接水準測量で実施しなければならない。
4. 深淺測量は、河川、湖沼などの、水底部の地形を明らかにする測量である。水深の測定は、音響測深機やロッド、レッドなどを用いて行う。
5. 法線測量は、河川又は海岸において、築造物の新設や改修などを行う場合に、等高・等深線図データファイルを作成する測量である。作成する範囲は、前浜と後浜を含む範囲である。